

個人投資家様向け 会社説明資料

2026年2月13日

東証 スタンダード

名証 プレミア

証券コード

6325



Takakita

トラクタメーカー
 Kubota イセキ
 Yanmar など



トラクタ

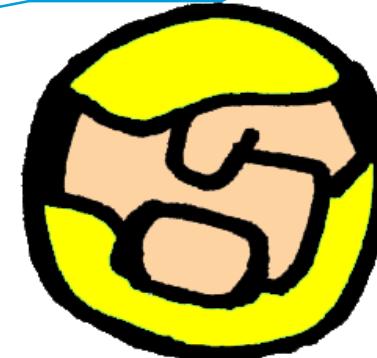
有機肥料散布



有機野菜

実作業を提供

走行動力源



作業機メーカー

Takakita



作業機

牧草収穫・梱包

安全安心な国産の
エサづくり

【補足】
トラクタメーカーとは競合ではなく
得意先として協力関係

1

会社の概要



2

事業の特長・強み



3

2026年3月期の業績予想



4

市場背景と今後の成長戦略



5

株主還元

タカキタの概要



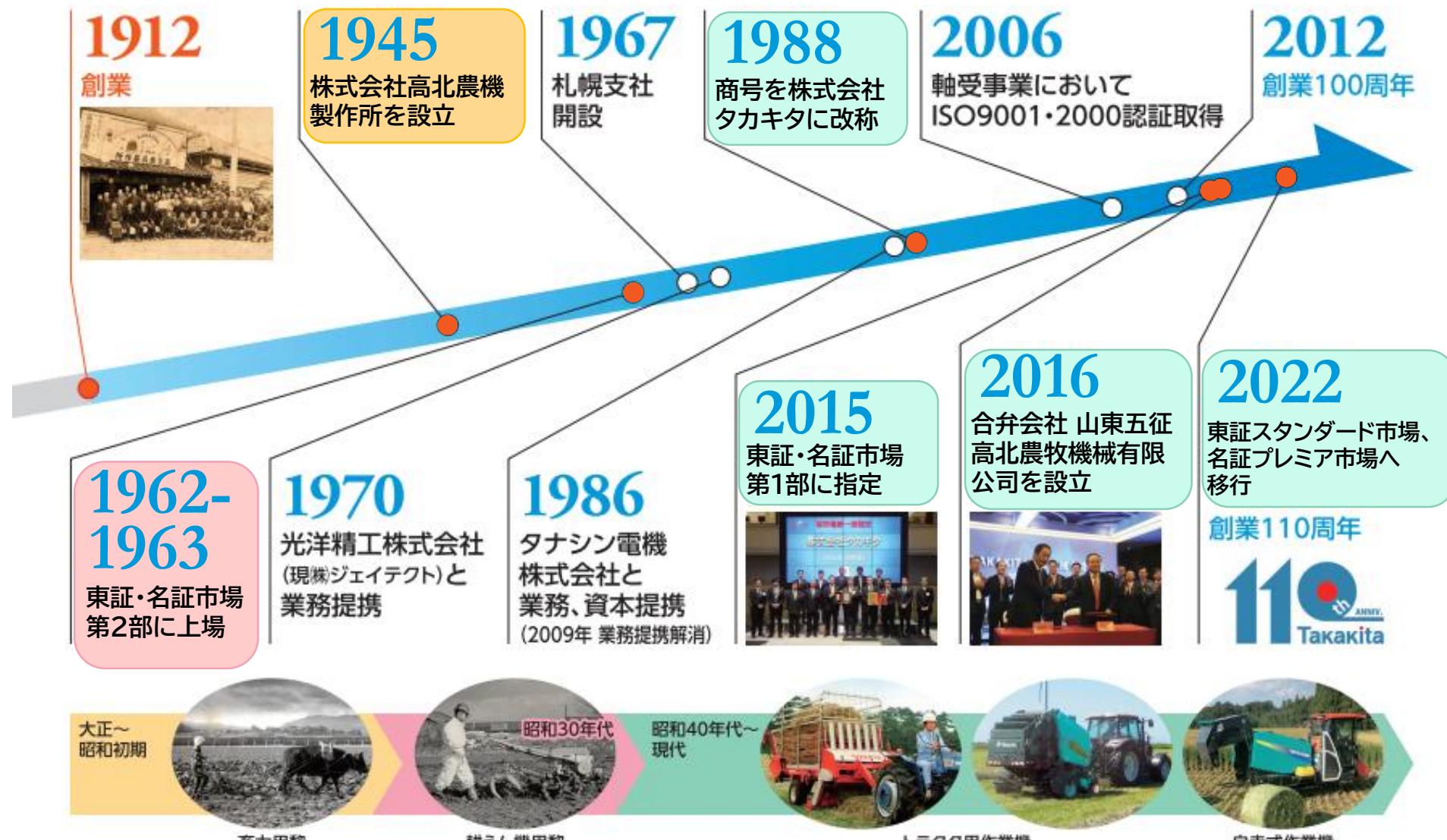
商号	株式会社タカキタ (Takakita Co., Ltd.)
本店所在地	三重県名張市夏見2828番地
代表者	代表取締役社長 藤澤 龍也
創業年月	1912年（明治45年）1月
設立年月	1945年（昭和20年）3月
資本金	13億5,000万円
発行済株式数	14,000千株
決算期	3月
事業内容	農業機械の製造販売及び軸受加工
従業員数	276名（パート、アルバイトを除く） ※2025年3月31日現在
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所プレミア市場

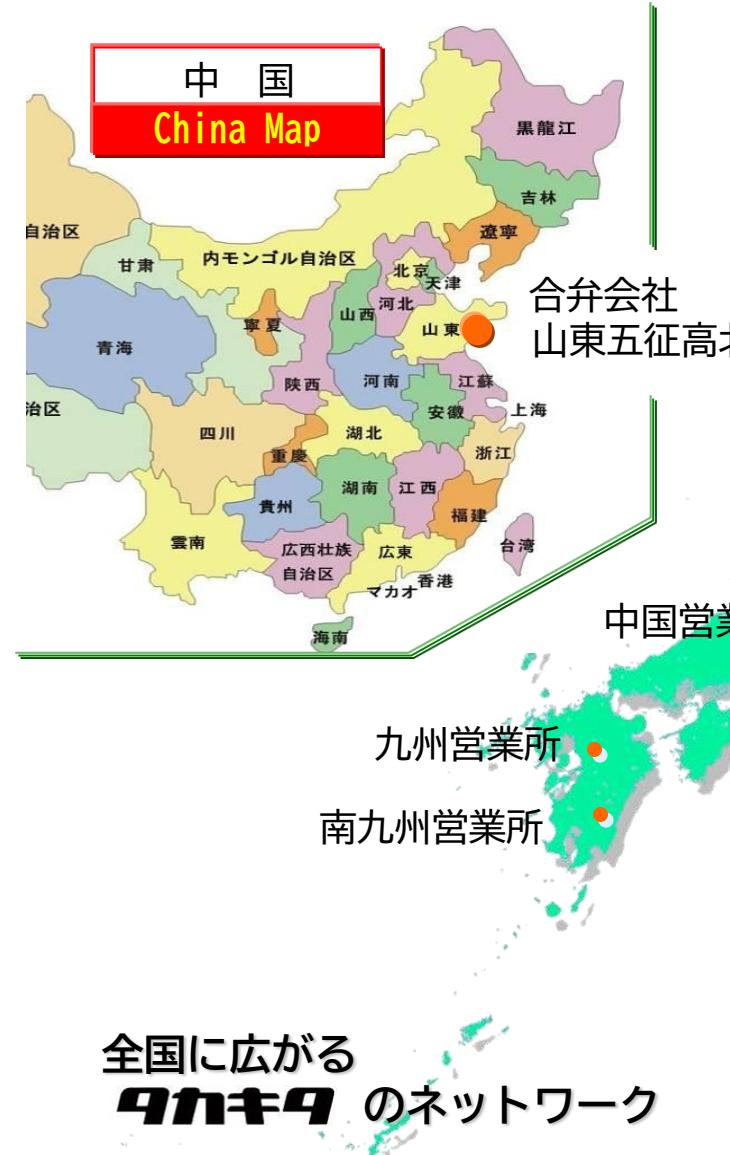


代表取締役社長
藤澤 龍也

会社スローガン
豊かな未来への道をつくる
恵み豊かな大地を守る

タカキタのあるべき姿 “Vision”
 《貢献》社会の課題を独自の価値観による製品提案で解決する
 《信頼》製品開発でグローバルニッチ市場のニーズに応える
 《CS》お客様の「期待」を超える製品・サービスを提供する





全国に広がる
タカキタ のネットワーク

豊富営業所

北見営業所

中標津営業所

帯広営業所

札幌工場



14,424m²

(エスコンフィールドグラウンド面積：約12,000m²)

卷所

関東営業所

本社・工場

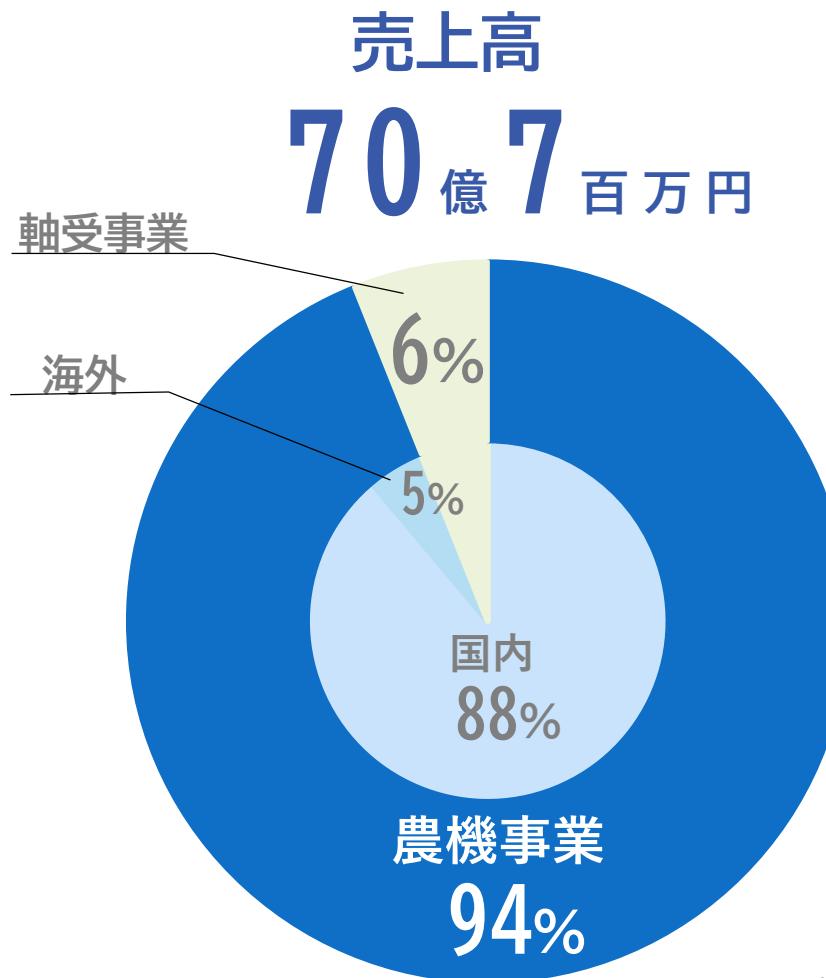


49,502m²

(名古屋ドーム面積：48,169m²)

農機事業が中心

2025年3月期



【農業機械事業】

畜産酪農用飼料収穫機、土づくり作業等の農業機械の製造・販売



【軸受事業】

大型ベアリングの旋削加工及びコロの研磨





【補足】
有機肥料と化成肥料の混合散布により農作業を効率化

土づくり①
肥料散布の現場

【補足】
国内最大級のタンク容量により、大規模化している農業現場に対応



土づくり②
液体肥料散布の現場



+



工サズくり
牧草梱包の現場

牧草梱包

ラッピング

給餉作業機

【補足】
牧草ロールを、牛が食べやすいサイズにカット



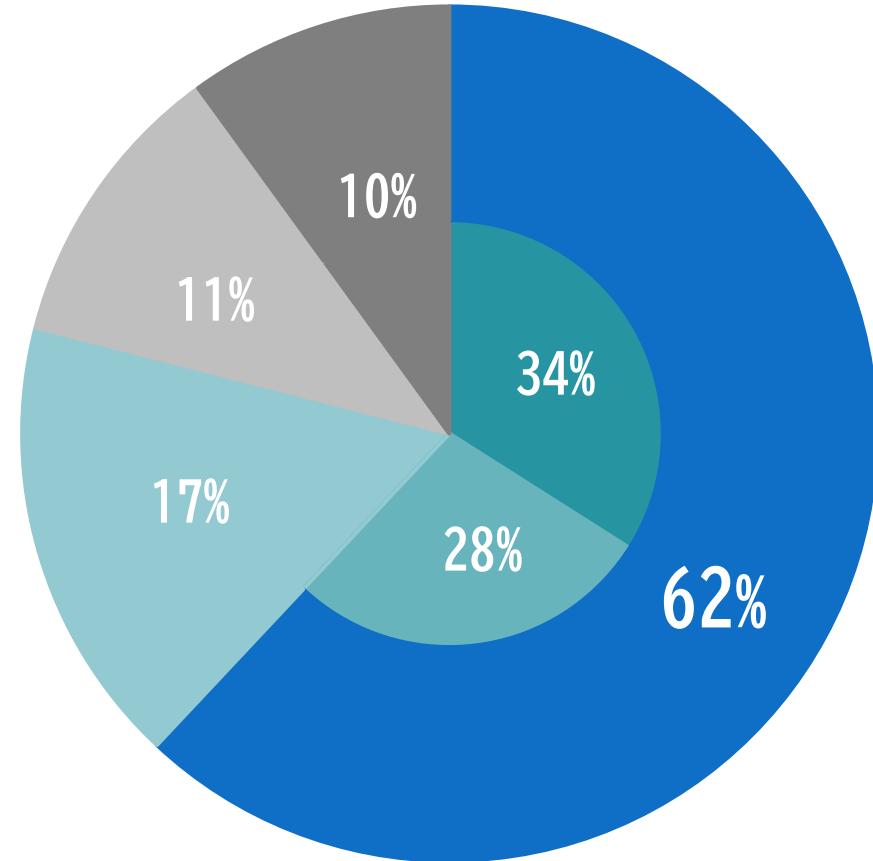
自走式給餉車

除雪作業機

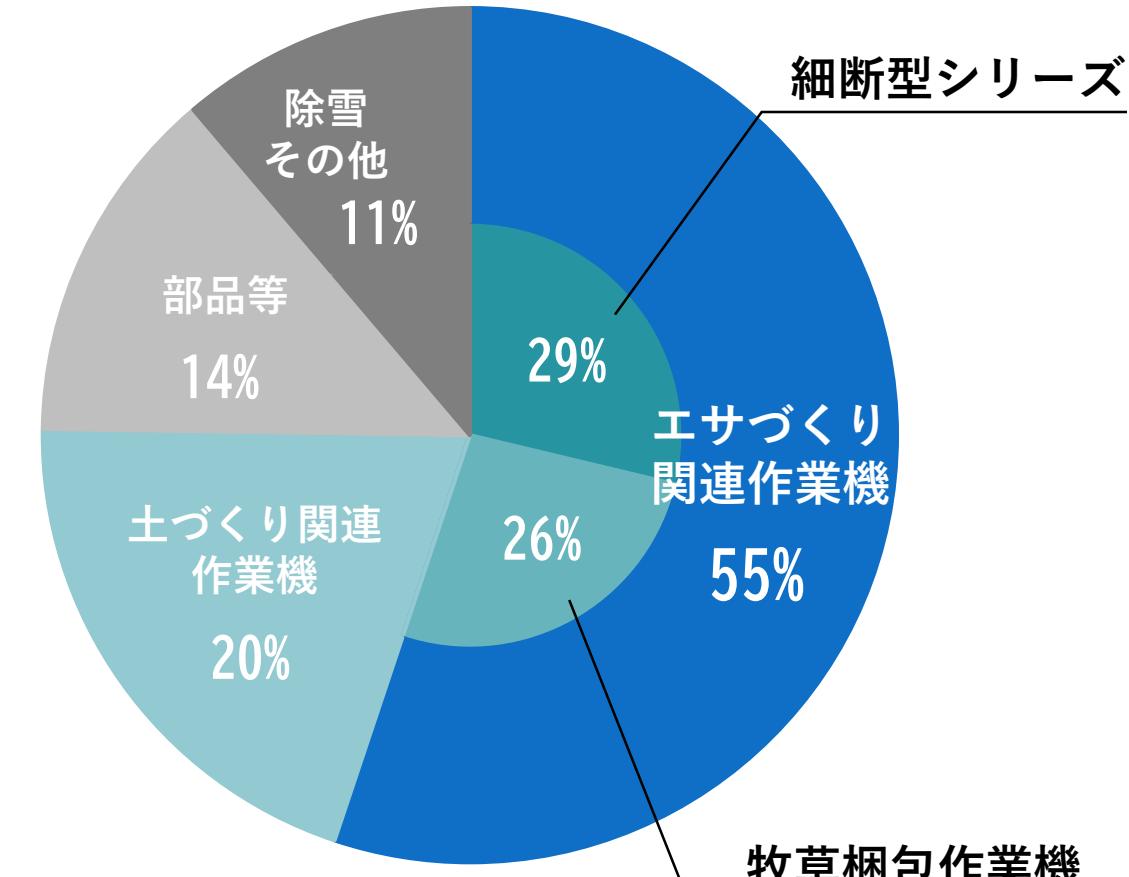
【補足】
農道・生活道路やハウスわきの除雪



2024年3月期



2025年3月期



土づくり関連作業機が3pt伸長

【補足】
ライン生産のほか、セル生産（一人で製品を組み立てる方式）も採用



タカキタの特長・強み

農業機械事業

製品完成までの流れ

原材料入荷

材料切断

外形抜き
成形

曲げ加工

溶接

塗装

組立

出荷



ファイバーレーザー
加工

プレス

ブレーキプレス

溶接口ボット

塗装

組立

出荷・納品

材料切断から組立まで一貫生産

少量多品種のフレキシブルな生産が可能

トウモロコシのサイレージ化は、人手と手間がかかる

サイレージ:作物を発酵させて作る家畜用飼料

7月～8月の炎天下酷暑の中…



刈取・収穫



運搬



荷降・踏圧



密封・貯蔵



スタックサイロ体系

例えば1haの収穫をする場合…

6人で
約15時間(1ha)
延べ90時間

細断型ロールベーラで 大幅な省力化!



細断型ロールベーラ
サイレージ体系

同様に1haの
収穫をする場合…

世界初の独自技術

85%
削減

2人で
6.96時間(1ha)
延べ約14時間



楽だよ~!!



高品質サイレージ

サイレージ物流化

細断型ホールクロップ収穫機



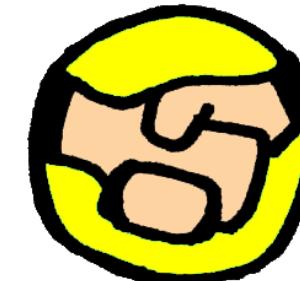
飼料用イネ収穫の様子

稲発酵粗飼料(WCS)は、水田で生産できる良質な粗飼料として、耕種農家・畜産農家の双方にメリット。

耕畜連携イメージ

ホールクロップ
(飼料用イネ)

畜産農家



耕種農家

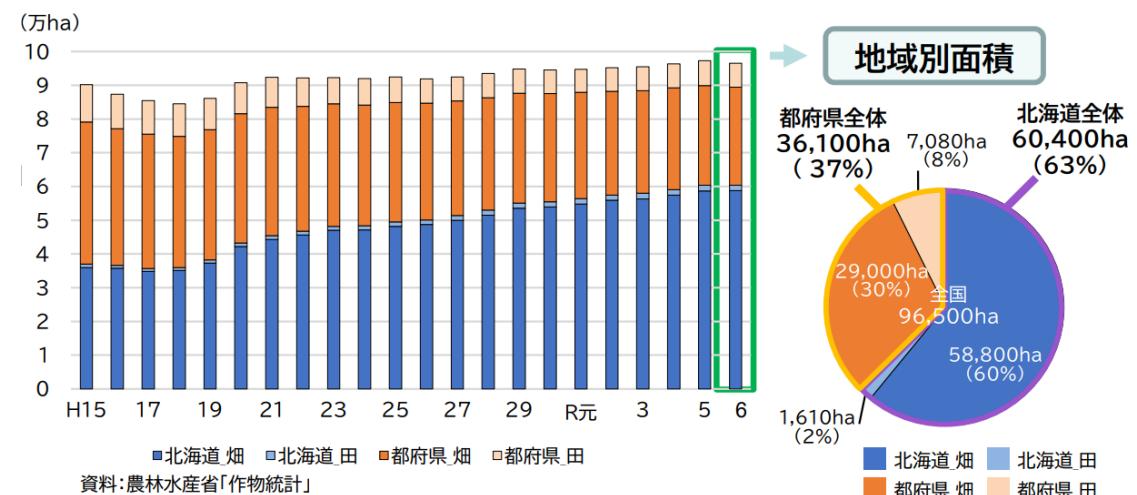
堆肥

汎用型微細断飼料収穫機



飼料用トウモロコシ収穫の様子

○ 飼料用トウモロコシの作付面積



○ 飼料用イネの作付面積 (ha)

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
42,453	42,791	44,248	48,404	53,055	56,479	48,896

前年比
△13%

○ 飼料用米の作付面積 (ha)

R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
72,509	70,883	115,744	142,055	133,925	98,666	46,004

前年比
△53%

資料:農林水産省「新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況および取組計画届出状況」

持続可能な農業生産のためにも、国産飼料の生産・利用の拡大を進めることが重要



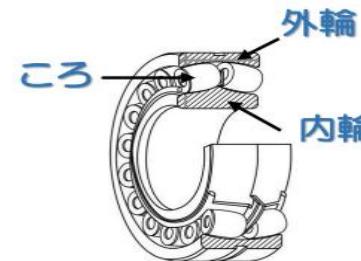
軸受事業

光洋精工(現ジェイテクト)との業務提携で1970年にスタート

業務内容

- ・200mmから1,200mmの大型ベアリングの部品加工
- ・大型ベアリングの内輪・外輪の旋削加工、ころの旋削加工、ころの研磨加工

ベアリングの構造



使用用途

製鋼所関係、建設機械、新幹線を含む鉄道用、その他産業用機械等



軸受以外の加工領域への拡大にも取り組む

3

2026年3月期 業績予想



売上高

7,007
6,600

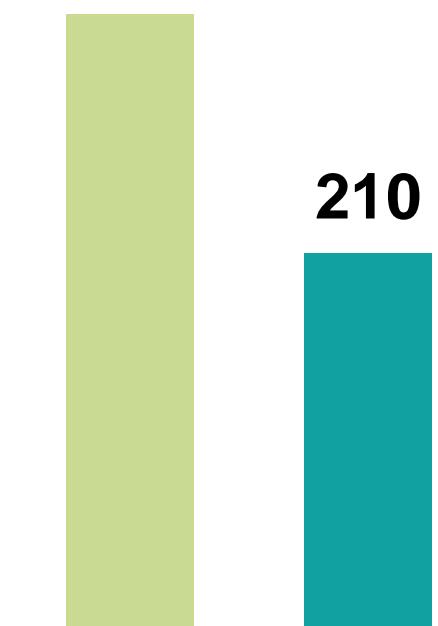


2025/3期 2026/3期

△6%

営業利益

344
210

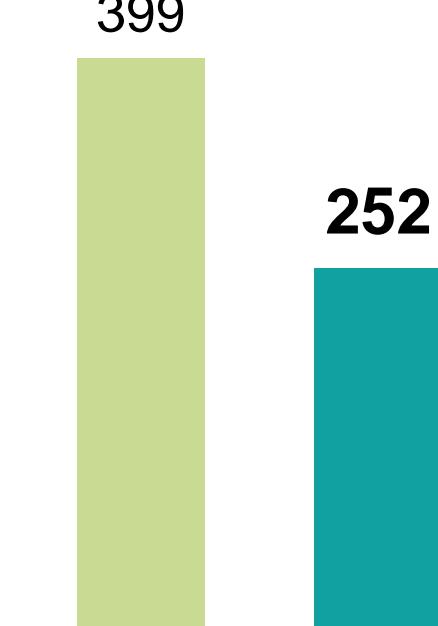


2025/3期 2026/3期

△39%

経常利益

399
252

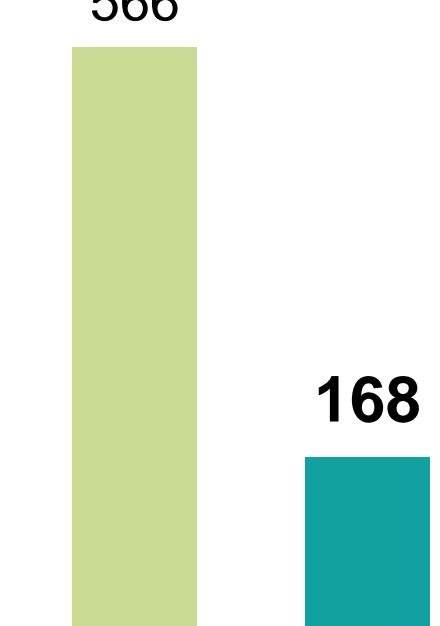


2025/3期 2026/3期

△37%

当期純利益

566
168



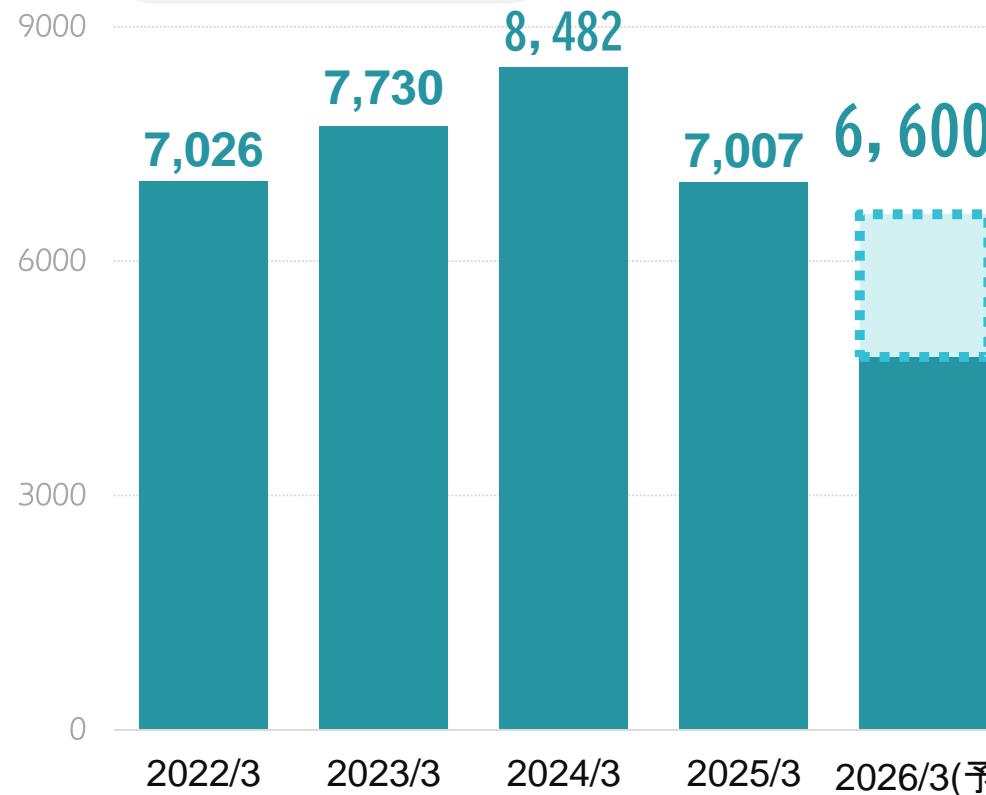
2025/3期 2026/3期

△70%

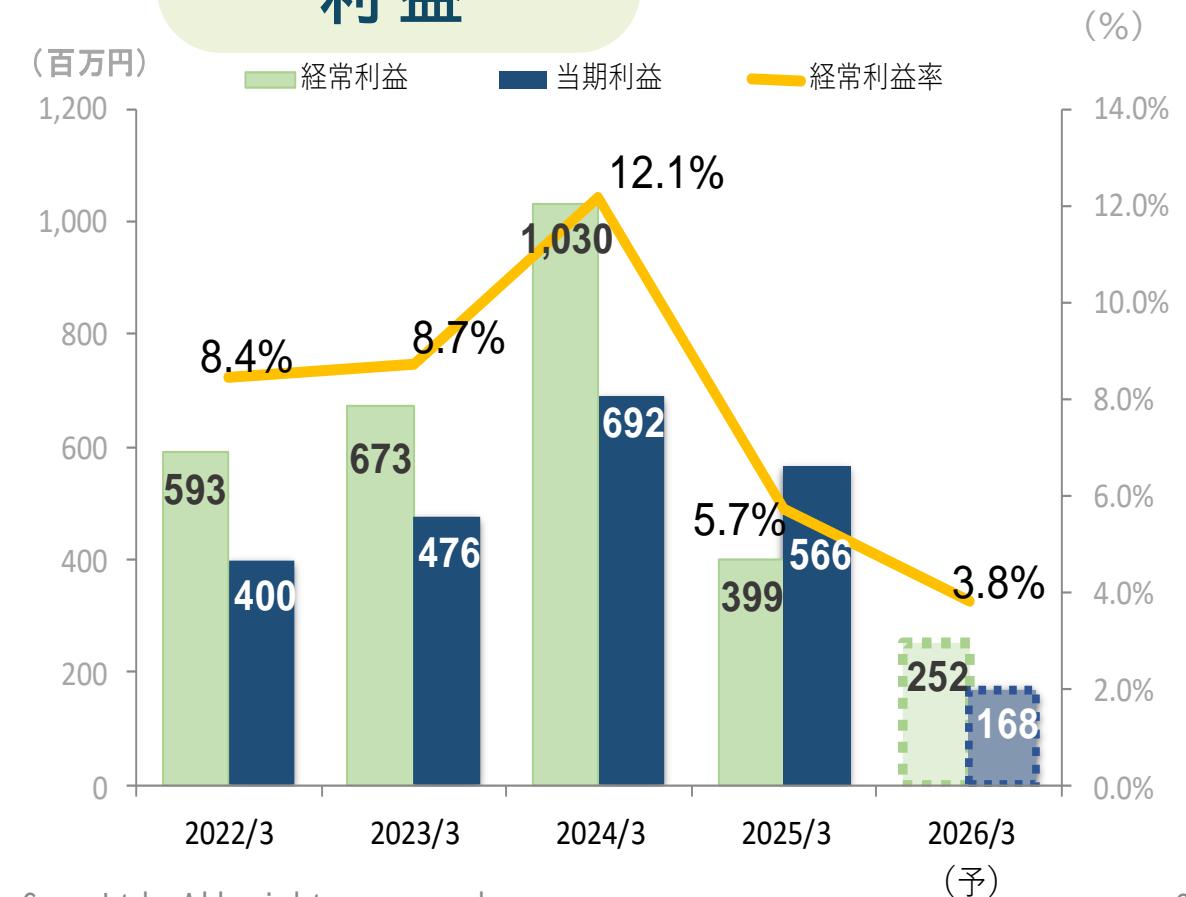
(単位：百万円)

- 2022/3月期は、エサづくり関連作業機の伸張や、集草作業機ツインレーキのシリーズ化および新製品投入効果により増収。
- 2023/3月期は、エサづくり関連作業機の伸長や、除雪作業機の早期受注活動により増収。
- 2024/3月期は、国内・韓国市場での細断型シリーズの受注が増加し増収。
- 2025/3月期は、海外市場での売上の減少や、エサづくり関連作業機・除雪作業機の売上が減少し減収。

売上高



利益



市場背景と今後の成長戦略



社会構造の変化

- ・高齢化
- ・重労働と労働人口不足
- ・大規模経営化

スマート農業化の需要拡大

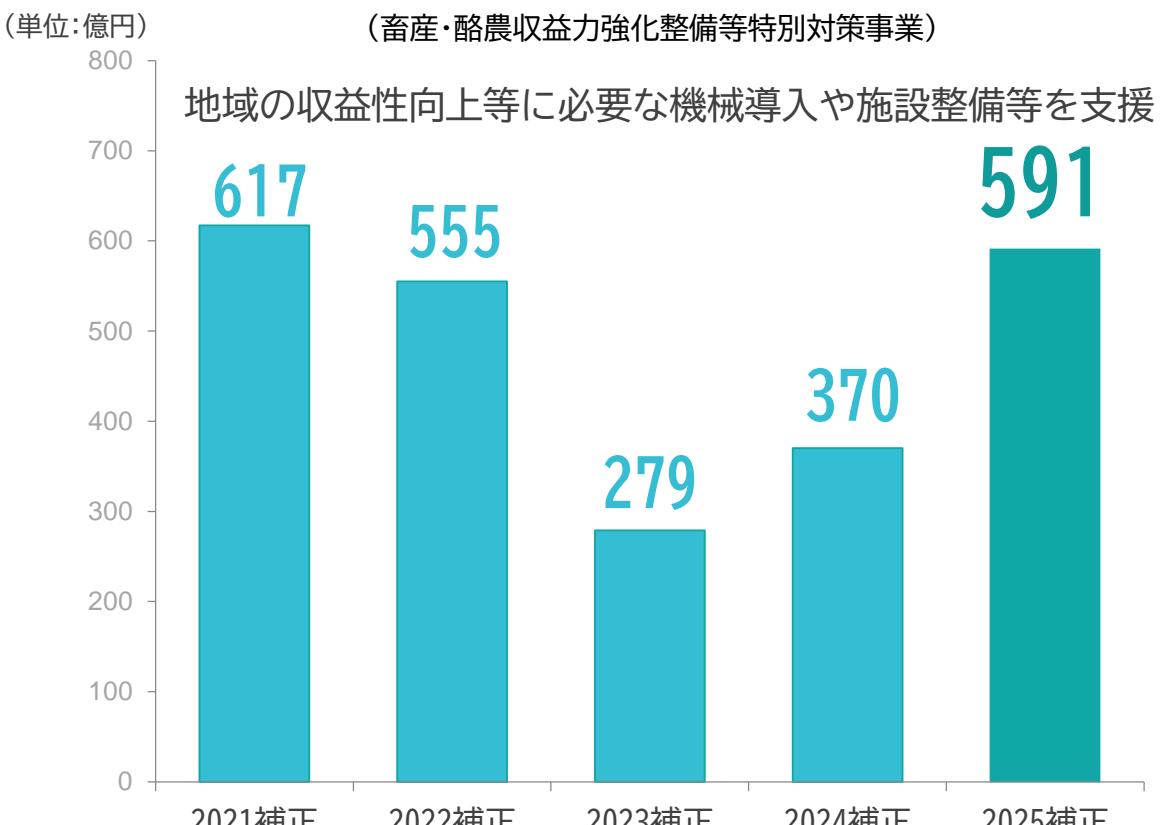
	農業用作業機の出荷実績(含む輸入)		(単位:百万円)
	国産出荷分	輸入分	合計
2005年	37,930	4,516	42,446
2010年	34,691	5,906	40,597
2015年	39,041	7,542	46,583
2020年	37,956	7,994	45,950
2024年	41,210	8,581	49,791

資料:日本農業機械工業会HP「統計資料」より当社作成

畜産・酪農生産基盤の強化に向けた政策支援

畜産クラスター事業

(畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業)



※2015年度補正予算から基金化

資料:農水省HPより当社作成

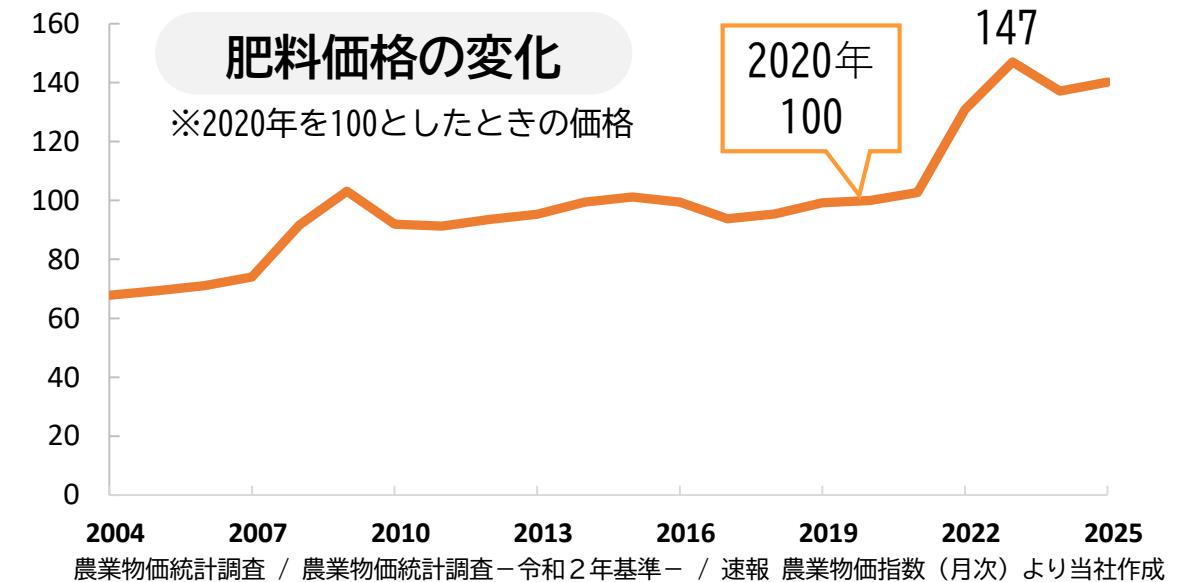
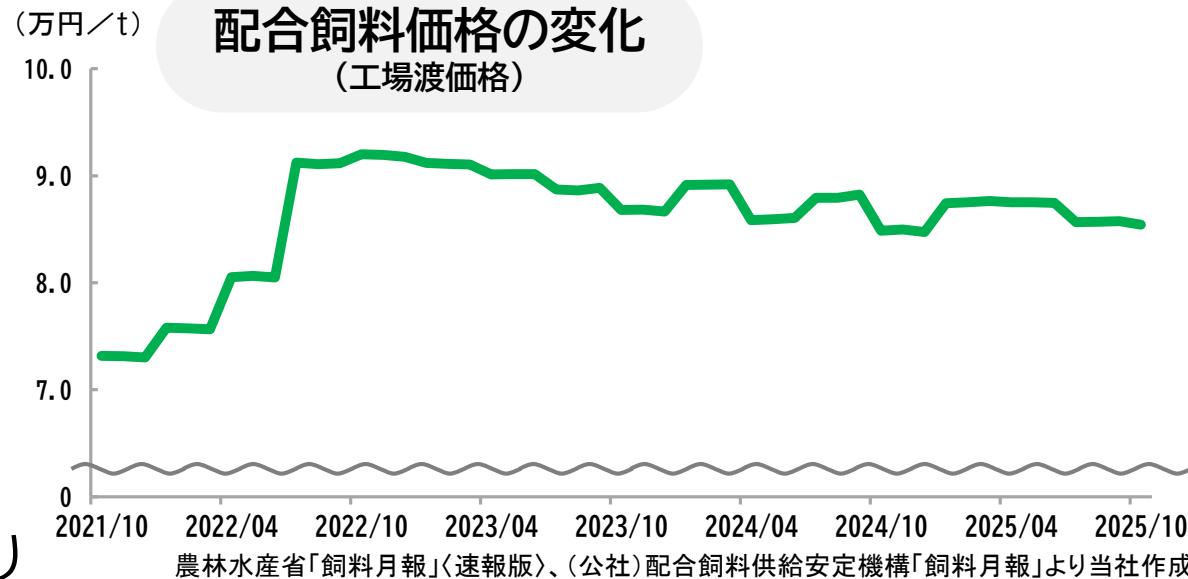
配合飼料や肥料価格の高騰

- ・国産飼料の増産
- ・国内資源の肥料利用の拡大
- ・耕畜連携、循環型農業の推進による強い農業づくり



※食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する政策

画像出典元: 農林水産省HPより切り抜き





異常気象の頻発化
世界人口の増加

食料需要の増加

日本農業が抱える主な課題

- ✓ 食料自給率の低下
- ✓ 高齢化と担い手不足
- ✓ 気候変動の影響
- ✓ 耕作放棄地の増加
- ✓ 農業所得の減少
- ✓ 國際競争への対応
- ✓ 新規就農者の定着困難

改正基本法と新たな食料・農業・農村基本計画

食料
安全保障
の確保

農業の
持続的な
発展

改正基本法
5つの
基本理念

農村の
振興

環境と調和の
とれた食料シス
テムの確立

農業の
多面的機能
の発揮

食料安全保障の
強化

食料自給率の向上

持続可能な食料
システムの構築

環境負荷の低減
循環型農業の推進

農業の構造転換
と担い手確保

スマート農業

みどりの食料システム戦略

新たな食料・農業・農村基本計画



タカキタが貢献できること

スマート農業の推進



肥料散布作業機
(Mixソーワ)

環境負荷の低減



ライムケーキ散布作業機
(ライムケーキスプレッダ)

食料自給率向上への貢献



自走式飼料刈取り・梱包作業機
(汎用型微細断飼料収穫機)

Offensive120

期間:2023年4月 ~ 2033年3月までの10年間

中期事業計画 (2024年3月期~2026年3月期)

スローガン

『やり切る執念 次代へ挑戦 Offensive120』

基本 戦略

国内の農機ビジネスをコア事業としながら海外市場への拡大を図り、企業としての社会的存在価値をより創出し、継続的な社会貢献を目指す。

農業機械事業〔国内〕

- 農業の省力化・効率化に対応する製品開発
- 畑作・果樹・水田市場への深耕および新製品開発提案
- スマート農業の実現に向けた製品のICT化
- アフターマーケット戦略

農業機械事業〔海外〕

- 韓国や欧米市場の事業領域拡大
- グローバルニッチ市場での新規市場開拓



(ブラジル)



(インド)



(台湾)



(パナマ)



(スロバキア)



(オーストラリア)



(マレーシア)



果樹市場



ICT化



海外市場



(作業動画)



【補足】
圃場整地や除雪作業のほか、簡易均平が可能

MULTI GRADER

(作業動画)

※GNSSレベリングシステムが別途必要になります



MANURE SPREADER

(作業動画)



(作業動画)



【補足】

- ・ 生産能力の拡充を目的に、2025年1月に新設した本社溶接工場の屋根に太陽光パネルを設置
- ・ 本社工場年間電力使用量の1/3に相当する発電量により、約126トンのCO₂排出削減
- ・ 災害等による停電時でも一定の電力確保

(紹介動画)

株主の皆様の期待に応える利益還元を目指す

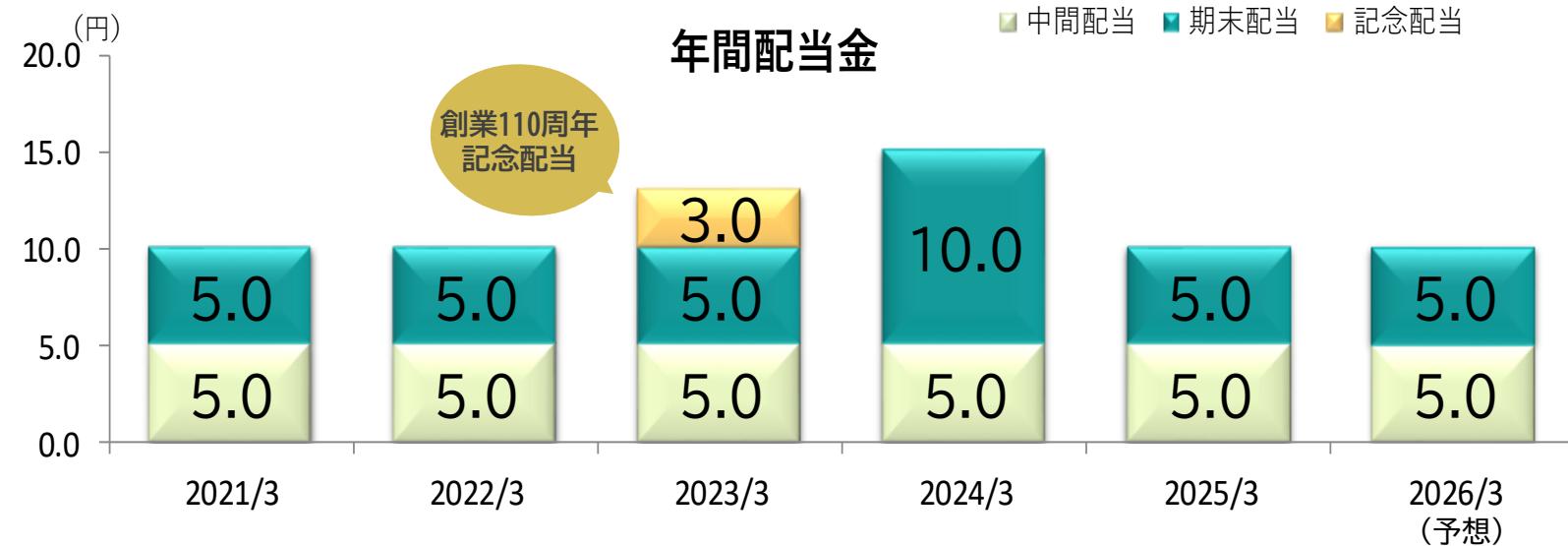
経営基盤の強化による
株主資本の充実



継続的、安定的に
適正レベルの配当

■株主優待制度

基準日	保有株数	優待内容	贈呈時期
9月末日	100株以上1,000株未満	クオカード: 500円分	12月
	1,000株以上	クオカード: 1,000円分	



本日は、ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ先】

株式会社タカキタ 管理本部経理部

E-mail:soumu@takakita-net.co.jp

TEL: 0595-63-3111

ホームページ: <https://www.takakita-net.co.jp/>

■本資料の注意点

- ・ 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・ 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・ なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。